

## **photokina 2012**

**2012年9月18日(火)～23日(日)**

**ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場**

### **業界をリードする見本市 photokina がさらに国際化**

フォトキナは、写真・イメージング産業の最も重要な国際ビジネス・プラットフォームとして、そのポジションを再び確立しました。世界中から約 18 万 5,000 人が来場し、見本市の国際性は大幅に高まりました。ケルンは世界の写真・イメージング業界が会う中心的な場所となったのです。

「第32回フォトキナ：ワールド・オブ・イメージング」は2012年9月23日に素晴らしい成果を残して閉幕しました。写真・イメージング業界の世界的見本市には、166カ国から18万5000人が来場し、前回の2010年（18万1464人）よりも来訪者数が増加しました。専門バイヤーの割合は約48.8%で、そのうち42.5%は外国からの来場者でした。これは2010年に比べると大幅な（7.5%）増加です。特にアジア（16%）、北米（26%）、東欧（40%）から来場した専門バイヤーとイメージングのプロがフォトキナに大きなプラスをもたらしました。ケルンメッセ社長 ゲラルド・ベーゼ氏は「フォトキナの国際性がさらに高まり、会場が活発なオーダーで盛り上がったことはフォトキナが商談・取引の場として業界トップに君臨していることを示しています」と総括しました。

また、フォトキナ ワールド・オブ・イメージングを共催するドイツ写真工業会のクリストフ・トーマス会長は、写真・イメージング業界における受注・ネットワーキングの場としてフォトキナの世界的な重要性を強調し、業界のイノベーション力を次のように讃えました。「各企業は数多くの新製品を発表し、イノベーションの力を立証しました。また一方では引き続き、写真撮影からアウトプットまでの業界の多様性も示しました。そしてフォトキナ2012は、写真・イメージング業界の未来像を見せることに成功しました。このなかで中心となるテーマの一つが、デジタル・イメージングと最新の画像コミュニケーション技術の融合です」と述べています。

特に、トレンドテーマとなるモバイル・イメージング、コネクティビティ、デジタルカメラによる動画撮影は出展企業からも来場者からも大きな反響を呼びました。「これらの新しいセグメントは、フォトキナが業界にさらなる活力を与える最も重要な見本市としての存在意義を示し、その多様性に新しい画像コミュニケーションを加えることで、トレンド

セッターとしての役割を印象深く証明しました」とケルンメッセ副社長のカタリーナ・クリスティーネ・ハマは述べています。

世界各国から訪れた専門バイヤーが活発にオーダーしたことから、受注は盛況で、出展者の雰囲気は上々でした。サムソン電子のデジタルイメージング・マーケティング担当 アンドレアス・ヴァーリッヒ シニアマネージャーは「展示ブースには多数の来場者が訪れ、受注状況も大変満足で、当社にとって成功だったと断言できます」と見本市の成果に非常に満足しています。国内外からも多くの来場者を集めたことは、パナソニックドイツ広報部のラルフ・ハンセン本部長も非常に喜ばしく感じ、見本市の展開から判断してパナソニックの今年の業績は良好になると見込んでいます。ハンセン氏は見本市を総括し、「フォトキナは、単なる国際的フォト見本市以上の存在であることを示しました。フォトキナは極めて重要な見本市であり、大きな成功を収めました。」と述べました。またソニードイツのマルティン・ヴィンクラー社長は、「出展ブースは2年前よりも多くのお客様を集め好評でした。あらゆる点で大いなる成果をあげた見本市でした」と喜びを表明しました。また、キヤノン ドイツ GmbH、コンシューマー・イメージング・グループのユルゲン・シュミッツ取締役は、「フォトキナは高性能でイノベティブな製品に対する消費者の関心が相変わらず高いことを立証しました。私たちは販売各社の反応に非常に満足で、2年後にまた参加できることを今から楽しみにしています」と語りました。

また注目すべきなのは、業界関係者として来訪した人々が持つ高い決定権限でした。来場者調査によると、専門バイヤーの約3分の2（65%）が購買の意志決定者か購買決定に関与する人物でした。これに関して、スウェーデンのProfoto AB社のPR&メディア・コーディネーター フレドリク・フランゼン氏は、「会期中、多くの質の高い来場者（特に東欧が増加）がブースに詰めかけました。フォトキナでは、当社にとって非常に重要なクライアントとのコンタクトを獲得することができました」と述べています。

出展者のみならず来場者側も満足していたことは来場者調査の結果に表れています。来場者の87%がフォトキナの展示内容に「満足」または「非常に満足」と答えました。また、専門バイヤーのグループに対し、フォトキナで来場目的を果たせたかという質問では84%は「満足」あるいは「非常に満足」と答えました。93%はフォトキナへの来場を同僚に薦めると答えています。

2012年のフォトキナの展示内容で注目を集めたのは、モバイル・イメージングや、コネクティビティなど新しい映像コミュニケーションに関する製品やサービスの展示でした。各企業はコードレスで写真をソーシャルネットワークに転送し、アプリで拡張できる最新のイメージングテクノロジーを搭載した多くの新しいカメラを出展しました。また、多くの

出展者はこの成長著しいトレンドを取り上げ、セグメントに合わせた製品やアプリケーションを紹介しました。CeWe Color Holding(株)の Dr. ロルフ・ホルンダー社長はフォトキナをビジネスパートナーや消費者との意見交換の場として利用しました。「当社は『CeWe goes mobile』をモットーに、動画が挿入できるフォトブック、スマートフォン、タブレット PC のための写真アプリケーションなどイノベーション製品をフォトキナで初めて披露しました」と述べています。フォトキナは特別の展示スペースを設置して、様々な視点からモバイル・イメージングを取り上げました。スマートフォンのメーカーが製品ポートフォリオを出展する一方で、プロバイダーやアプリケーションメーカーも展示に参加しました。スマートフォンメーカーHTC のドイツ、オーストリア、スイス地域マーケティング責任者のマーティン・カン氏は初出展のフォトキナは大きな成功だったとし、「メディアや専門バイヤー、フォトキナにおけるイメージング・コミュニティが高い関心を示していることを喜んでいきます」と述べました。

また、イメージングのプロのために初めて特別開催された「shoot movie Parks」も成果をあげました。ここでは、DSLR・システムカメラによるプロの動画撮影に焦点を当てました。プレミアムパートナーとして登場したキヤノンとツァイスを含む 28 社が、世界からの来訪者に特別な領域の製品やサービスを紹介しました。カール・ツァイス(株) カメラ・レンズ・マーケティング部長のマルティン・ドミニクス氏は今回の参加は意味があったと述べています。ドミニクス氏はビジターの質の高さを賞讃し、専門家に的を絞ってアプローチできたことは喜ばしいと、ポジティブな評価を下しました。「この見本市は今年もまた、HD ビデオやモバイル・イメージングなどの市場の新しいテーマを有意義な形で見本市に取りこむことが可能であることを立証しました。当社は第 1 回フォトキナから出展していますが、今回の見本市の結果にも非常に満足しています。2014 年のフォトキナを、今から楽しみにしていますし、必ず出展すると思います」

数々のイベントプログラムも大好評でした。プロ向けには、業界の最新トレンドや市場動向、ビジネスモデルなどに関する情報交換のイベントが中心となりました。個人ユーザー向けのイベントでは、「触れて、試して、体験する」がモットーでした。2012 年フォトキナでも、質の高い写真展が数多く開催され、記録写真、フォトデザインから写真ジャーナリズム、写真芸術まで幅広い分野をカバーする展示が行われました。特に賞賛を浴びたのが、展示ホール 1 でのライカカメラ(株)の写真展で国際的に著名な写真家の作品を展示してフォトキナの来訪者にとっては印象深い体験となりました。

また、「photokina cologne takes photos!」は今年で第 3 回目をかぞえ、フォトキナ主催者は「写真を撮る」というテーマを見本市会場の枠を超え、9 月の初めからケルンの街の中にまで広げることに成功しました。「cologne takes photos!」という催しは、ケルンのユルゲン・ロー

タース市長が後援し、その中ではフォトワークショップ、撮影会、展覧会など様々なイベントが行われます。ケルンの企業や、各組織と共同で行われたイベントのほぼすべてが多くの来場者を集め、一部はチケットが売り切れとなるほど盛況でした。

#### **photokina 2012のデータ**

出展企業総数：41カ国から1,158社(外国企業比率:63%)  
ドイツからの出展企業数：単独出展:280社、共同出展:140社  
海外からの出展企業数：単独出展:523社、共同出展:215社  
来場者数：166カ国から約185,000人(外国からの比率:42.5%)

次回の「フォトキナ・ケルン：ワールド・オブ・イメージング」は2014年9月16日(火)～21日(日)に開催されます。

#### **お問合せ先**

ケルンメッセ株式会社  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル5階  
Tel:03-5793-7770 Fax:03-5793-7771  
E-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp

ファイナルレポート、その他プレスリリース、出展者情報、新製品情報一覧、写真とロゴのデータバンクはホームページ(<http://www.photokina.de>)のプレス情報サイトでご覧いただけます。